第107回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第11日目　　7 月　21　日（月）

準々決勝　　石巻市民球場　　2 時間　30　分

仙台育英	0	0	1	0	0	0	2	0	0					3
東北	0	0	0	0	2	0	0	0	0					2

（　　）

（球）水戸　恭平　（一）佐藤　拓哉　（二）毛利　晃　（三）野田　学

【仙】　吉川　―　川尻

【東】　川原, 堀江　―　越田

▽暴投　なし　　▽捕逸　越田1(東)

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【仙】	31	8	2	0	2	1	5	4	1	0
【東】	34	7	1	0	1	0	10	6	1	0

▽本塁打　なし

▽三塁打　引地(東)

▽二塁打　土屋, 川尻　(仙)
笠, 川原2, 引地　(東)

【評】

準々決勝第１試合は宮城県の高校野球伝統校の対決、仙台育英対東北となった。好投手を要する両チームのため、接戦が予想された。３回に仙台育英が四球から犠打、相手のエラーから先制すると、東北も５回長打と相手のエラーから２点を返した。その後、７回に仙台育英が４長短打から２点を返し、９回まで互いに一歩も引かない好ゲームとなった。

両チームともここぞという時の集中力とプレーのレベルが高く、宮城の高校野球のレベルの高さを表す試合であった。

準々決勝　　石巻市民球場　　2 時間　50　分

仙台第一	0	1	0	1	0	0	1	0	0					5
古川学園	2	0	0	0	0	0	0	0	1					4

（　延長10回ﾀｲﾌﾞﾚｰｸ　）

（球）浅野　卓也　（一）西山　充　（二）新田　健治　（三）藤村　一也

【仙】　藤田　―　金子

【古】　櫻井琉, 菊地　―　伊藤, 佐藤

▽暴投　菊地1(古)　　▽捕逸　なし

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【仙】	33	9	4	2	5	5	6	9	2	3
【古】	35	10	2	0	3	2	7	8	2	0

▽本塁打　なし

▽三塁打　なし

▽二塁打　金子, 島貫2　(仙)
なし　(古)

【評】

ベスト４進出を狙う実力校同士の試合はタイブレークにもつれ込む激戦となった。先制は古川学園、初回の連打から敵失と併殺の間に２点を先制した。対する仙台第一は２回７番島貫の適時打、４回９番藤田の犠飛で同点とすると、７回には盗塁と送球エラーの間に逆転に成功した。粘る古川学園は９回２死１・３塁から９番櫻井のタイムリーで追いつき、試合は延長戦へ。１０回表仙台第一は走塁死の後に３番川村のヒットでチャンスを拡大すると、４番水上のタイムリーと５番安斉のスクイズで２点を勝ち越した。後攻の古川学園は、先頭打者が四球で無死満塁とするも、３番菊地の犠飛の１点に留まり、最後は併殺打で試合終了となった。仙台第一の先発藤田は１３９球の粘投。１点を争う好ゲームは伝統校の仙台第一が勝利した。